

しりとり

ヤビと瓶

「あやとり。りす。するめいか。からおけ。けむくじや
ら。らしんばんぎ。ぎひよう。うなぎ。ぎりぎり。りり
つく。くま。まんと。とんぐ。ぐるぐる。るんば。ばり
き。きぐるみ。みみず。ずつとまよなかでいいのに。に
ーず。ずつきーに。にほんご。こころご。ごつど。どぐら・
まぐら。らなんきゆらす。すんどめ。めぢから。らつき
ー。いぎりす。すずき。きかい。いかい。いめーじ。じ
つきよう。うるせいよ。よどおし。しじようさいこう。
うなぎのぼり。りかい。いすず。ずかい。いっししよう。
うこんのちから。らいと。とるーばー。ありがとう。う
おーきんぐ。ぐみ。みかんせい。いらすと。とのさま。
まんとひひ。ひつきりなし。しつこう。うた。たのしみ。
みつもり。りんぐ。ぐざい。いつも。もくひ。ひかきん
げーむず。ずるずる。るかりお。おさいふ。ふとどきも
の。のはら。らすと。とかげ。げのみくす。すな。なす
な。なす。すけじゅーる。るいーじ。じくう。うちあわ
せ。せかい。いんこ。このすば。ばけもの。のけもの。
のらねこ。こども。もじゅーる。るあー。あき。きつと。

とうきようと。とまと。とつておき。きんかい。いんた
ーねつと。とす。すばる。るくせんぶるく。くだもの。
のーと。とべ。べつこうあめ。めにめにまにまに。にる
いだ。だまれ。れつとうしゆ。しゆいろ。ろつく。くる
せいだー。あなうんす。すとらいく。くつきー。いど。
どうが。がき。きば。ばいく。くだらねえ。えいぎよう。
うだうだ。だいて。てなおし。しんどろーむ。むしやぶ
ぎよう。うきうき。きじゆつ。つんどら。らんらんるー。
うしろ。ろけつと。となかい。いんぺい。いこらいざー。
あなーきー。いぬ。ぬるぼ。ぼつぶ。ぷりずむ。むさし。
しつてる。るつきずむ。むげんだい。いきる。るりいろ。
ろすと。とけい。いんが。がんだむ。むかつく。くれじ
つと。とつかえひつかえ。えだ。だーく。くうこう。う
つ。つかれた。たまりば。ばんぶつ。つみき。きがえ。
えんじ。じーく。くつきよう。うちゆう。うなばら。ら
く。くない。いつき。きんどう。るーたー。あなどるな
かれ。れすば。ばつくあつぶ。ぶくぶく。くだら。らつ
きよう。うぞうむぞう。うてんけつこう。うんが。がり
れお。おれ。れんらく。くたくた。たつば。ばいのみ。
みつくす。すとらくちやー。あい。いってきます。すも
う。うようよ。よつと。とさきんと。とちよう。うらし
ま。まるつけ。けもなー。あぶら。らつか。かもなべ。
べにやいた。たられば。ばくそう。うなきり。りーど。

どーなつ。つんでれ。れっちり。りそーす。すいか。か
じの。のぐち」

ここで、ぼくは思わず息を呑んだ。二千年前からずつ
と待っていた。「ち」が、ようやく来てくれたのだ。

静寂の中、深く息を吸い込む。

清廉な期待をつれて、ぼくは最後の一語を紡いだ――。

「ちんちん」

あああ、なんて気持ちかが、よいのだろう！

目の前が光に包まれる。冷たさで満ちていたはずのそ
の場所が、一瞬で別世界へと変わってゆく。

胸の中に広がる充足感。もう思い残すことはない。こ
の世界のすべてよ、ちんちんであれ――！　そう祈りを
捧げ、ぼくは桃源郷へと旅立っていった。